

10/24 金

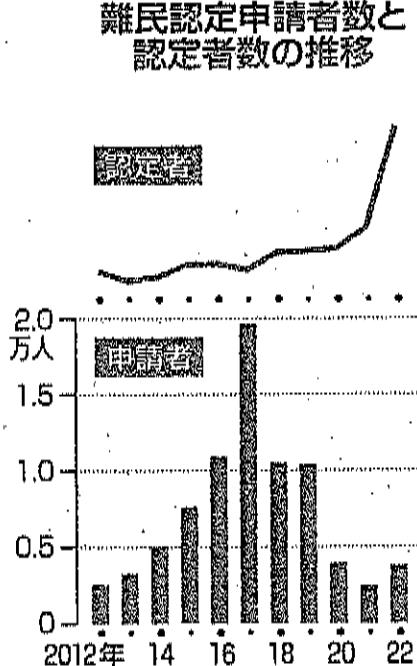
難民申請過去最多の勢い

1~9月で1万1000人超

日本で難民認定を申請する外国人が今年急増し、1~9月で1万1千人を超えた。通年で1万9629人

※法務省・入管庁による

難民認定申請者数と認定者数の推移



と過去最多だった2017年に迫る勢いであることが分かった。

新型コロナウイルス感染

防止の水際対策が終り、

世界各地で紛争が多発していることなどが原因とみられる。申請者の増加に伴い、認定者も増えるか注目される。

今年の急増の原因は①4

月に水際対策が終了し、母

国から脱出したくてもコロ

ナ禍で動けなかつた人が新

たに入国し申請した②アフ

リカをはじめ紛争や政情悪化が相次ぎ、既に来日していた人が申請に踏み切つた

ようになつた10年以降、大

きく増加した。難民申請が乱用されているとして、法務省入国管理局（現出入国在留管理庁）が18年、申請を繰り返した場合は在留を認めないなどの対策を取る

と、減少に転じた。コロナ禍の20年からは、入国制限で来日外国人が激減したのに伴い、2千~3千人台で推移していた。

急増の結果、政府が難民申請者の生活を支援する「保護費」の支給が遅れるなど、影響も出ている。平均約2年9ヶ月（異議手続きも含めると3年11ヶ月）かかるいる難民審査の期間が、さらに延びる恐れもある。

一方、難民認定者は昨年、2021人と過去最多で認定率は2%だった。今年も、アフガニスタンから避難した国際協力機構（JICA）の現地職員と家族14人が7月に認定され、既に例年を上回っている。